

産総研と地域企業

産業振興で連携

GFRP表面に粘土膜被覆

宮城化成

異素材の融合

宮城化成(宮城県栗原市)が開発した製品

「Eクスビュー」(Eが悪くなったり、さらXVIEW)は、不燃には燃焼時には有毒ガスを発生させたりす性、軽量性を全て併せ持つ新しい複合材料である。一般にプラスチック材料の難燃化は、難燃剤や金属化合物を添加する方法が知

不燃で透明なプラ複合材

東北センターのクレイ



スト(粘土膜)技術を2009年の産総研東北センターの首席研究員との面談である。お互いの技術を生かした新しい素材を東北から生み出そう、という思いが一致し共同研究を

2009年の産総研東北センターの首席研究員との面談である。お互いの技術を生かした新しい素材を東北から生み出そう、という思いが一致し共同研究を

われていたポリカーボネート類では不燃性の認定は取れず、各メーカーが苦慮していた。プラスチック材料で鉄道車両の不燃性の認定を取得するのは、これまでできなかった。

一言メッセージ

産総研化学プロセス研究部門首席研究員 蛭名 武雄

宮城化成には研究開発の過程で、「企画開発部」を新設、事業に材料開発という新分野を加えてもらった。今後も東北地域から、「自社オリジナル商品を開発したい」という積極的な企業の支援を続けていきたい。

航空機・車に

Eクスビューは昨年シンガポールで開催された複合材料の展示会上で、私たちが15年の市場投入まで約6年の年月を費やした。

その間、研究開発資金調達のため産総研と協力してさまざまな助成金や補助金を申請したが、そのうちの何件かが採択されて研究開発を続けることができた。また、第8回も行っている。現在、鉄道車両のみ

不燃透明複合材料Eクスビュー

役・小山昭彦

(宮城化成代表取締役 木曜日に掲載)